

【スポーツ振興課】 宮城県総合運動公園 個別施設計画

策定年月日	R3.2.4
変更年月日	R6.10.29

1 対象施設・施設概要					
施設情報					
施設名称	県サッカー場	所管所属名称	企画部スポーツ振興課		
公共施設等総合管理方針施設分類					
大分類	公共用施設	中分類	スポーツ施設	小分類	単体競技施設
主要建物概要					
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	用途	その他公共用施設	建築日	1988/6/22
経過年数	35年	耐用年数	47年	目標使用年数	61年
運営方式	指定管理制度	管理者名称	指定管理者	全延床面積(㎡)	6,293
所在地	宮城県利府町森郷字内ノ目南119-1				
2 計画期間					
令和2年～令和31年(30年間)					
3 点検・診断によって得られた個別施設の状態					
別添「保全点検結果報告書」のとおり					
4 当該施設の必要性					
設置根拠規定等	総合運動場条例		必要性の有無	有	
業務内容	県のサッカー・ラグビー競技の拠点				
必要性の判断理由	サッカーでは、県中学・高校総体をはじめ、各年代別のサッカー大会の会場として利用されている。また社会人やクラブチームのリーグ戦、JFLや日本女子サッカーのリーグ戦でも利用されている。さらに宮城スタジアムや仙台市のユアテックスタジアムでの国際大会開催時には、同じ天然芝グラウンドの練習会場が必須となるため、練習会場として利用されている。ラグビーでも全国高校選手権の予選大会やクラブ選手権の会場として利用されており、利用率は高く、県民のサッカー・ラグビー競技の拠点となっている。				
5 施設ごとの今後の対策					
管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	男子実業団のリーグ戦から全県・東北地区の小・中・高校生各年代別の大会が開催されている。ラグビー競技についても高校やクラブチームの大会が開催され、利用率は高い施設となっている。長寿命化対策を継続して実施しながら、今後の在り方について検討していく。				
施設間・対策間の優先順位の判断内容	利用者の安全性の確保、施設設備の基本構造部分の機能保持を優先に改修工事を施工し、利用者が安全・安心に利用できる施設として、長寿命化を図っていく。また、利用者の利便性向上のため、施設のバリアフリー化や空調設備の設置について検討していく。				
6 対策内容、時期及び概算費用					
別添「中長期保全計画表」のとおり					

